

グローバル BCP 研究会 2010 年度 第六回会合 (議事録)

1. 会合概要

- (1) 開催日時：2011 年 2 月 22 日(火) 16:00~18:00
- (2) 場所 所在地：東京都中央区日本橋本町 4 丁目 3-4 東海日本橋ビル
会場名：BCAO 東京オペレーション事務所会議室
- (3) 今回の議長役：原田座長
- (4) 議事録作成者：佐々木
- (5) 出席者：以下 X チェックの 7 名 (会員 12 名)、欠席者：以下 5 名

メンバー(X=出席)		メンバー(X=出席)		オブザーバー など	
1.座長 原田泉	<input checked="" type="checkbox"/>	11.菅谷 豊	<input checked="" type="checkbox"/>	理事長 丸谷様	<input type="checkbox"/>
2.副座長 白澤健志	<input checked="" type="checkbox"/>	12.皆川	<input type="checkbox"/>	事務局長 細坪様	<input type="checkbox"/>
3.上田 悦久	<input checked="" type="checkbox"/>	13.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
4.大木 幸久	<input type="checkbox"/>	14.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
5.金井 正弘	<input checked="" type="checkbox"/>	15.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
6.小山 和博	<input type="checkbox"/>	16.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
7.佐久間 勇児	<input type="checkbox"/>	17.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
8.佐々木 忍	<input checked="" type="checkbox"/>	18.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
9.志方 宣之	<input type="checkbox"/>	19.	<input type="checkbox"/>	出欠 ON/OFF は右クリック、プロパティ の既定値の設定で	
10.篠原 秀一	<input checked="" type="checkbox"/>	20.	<input type="checkbox"/>		

(6) 次回開催予定

第七回 2011 年 3 月 28 日(月)16:00~17:30 B C A O 東京オペレーション事務所会議室

(7) 当日配布資料

- ①グローバル BCP 構築の注意事項 (案)

2. 議事内容

(1) 2011 年度中国との交流会について

- ・海外との交流の場合、BCAO としては研究会で実施ではなく、タスクフォースを設置の必要がある。設置の場合は、グローバル B C P 研究会メンバーは第一に参加候補となるが、他の B C A O 会員からも参加者を募る。
- ・現時点での計画としては、2011 年 8 月または 9 月頃に、青華大学と連携し、危機管理、B C について上海 または / かつ 北京で開催を想定している。

(2) グローバル BCP 構築の注意事項について

注意事項集を一通り読み合わせ、レビューを実施。

- ① 前提について、以下を追記する。

「日本+1国以上」にまたがる BCP をグローバル BCP として想定する。

- ② 1. 方針：ポリシーは共通、具体・運用化はローカルで記述の通りに進める。(原田さん)
- ③ 2. 計画：現地発災、現地での緊急事態発生用語は後者で統一する。
 - ・ 3項目「計画の策定にあたっては・・・」記述順位を後ろへ持っていく。
 - ・ 1項目と4項目が重複しており、見直しを実施する(上田さん)
- ④ 2. 1 検討対象とする災害の特定(金井さん)
 - ： 2項目1行目のリスク表現に、“政情不安”も追加
 - ： 2項目2行目は2. 計画に移して記述する(上田さん)
- ⑤ 2. 2 影響度の評価(小山さん担当、欠席のため上田さんフォロー)
 - ： 1項目、5項目カット
 - ： 2項目は記述表現を修正する。現地事情に即した目標復旧時間を設定する。
ポイントを絞り業務優先度を検討する。
 - ： 3項目は、業務抽出の基準としては現地及び本社双方の観点からの影響度を考慮し評価すること。
- ⑥ 2. 3 重要業務が受ける被害の想定(佐々木)
 - ： 文言修正
- ⑦ 2. 4 重要な要素の抽出(志方さん欠席)以下に修正
 - ： 災害が発生時、バックアップや資材等国内では対応ができて海外でできるとは限らないため、重要な要素の抽出には、現地のコンセンサスが必要である。
- ⑧ 2. 5 事業継続計画の策定(篠原さん)
 - ： 冗長な表現を簡素化する。
- ⑨ 2. 6 事業継続計画に求められるもの(菅谷さん)
 - ： 2項目“地震・・・場合は”の節をカット。地元行政→現地行政
- ⑩ 3. 1 事業継続計画の実施(上田さん)
 - ： 3項目“余裕があるならば”をカット
 - ： 4項目 SCM→サプライチェーン
 - ： 5項目 社員の退去は、本部の判断により迅速に現地に指示する。
- ⑪ 3. 2 文書の作成(金井さん)
 - ： 基本方針は現地語と英語
- ⑫ 3. 3 財務手当て(小山さん欠席)以下に修正
 - ： 3項目重要業務が停止の場合の会社への事業損失に関しては、事前に組織内で合意を得ておくこと。
- ⑬ 3. 4 計画が本当に機能するかの確認(佐々木)
 - ： “言語、時差、現地事情”に修正
- ⑭ 3. 5 災害時の経営判断の重要性(志方さん欠席)以下に修正
 - ： 災害発生時の初動対応等は、人命対応などスピードが重要な場合のために事前に現地責任者への権限委譲、決裁の事後承認も必要である。
- ⑮ 4 教育訓練の実施(篠原さん)
 - ： 1項目“教育・訓練・評化”に修正

: 2項目、5項目カット

: 6項目グローバル訓練→連携訓練

⑩ 5点検及び是正措置（菅谷さん）現状のまま

⑪ 6経営層による見直し（白澤さん）

: コミットの意味を記述する。

（3）次回へ向けて

各自担当分を再度修正し、メールで情報共有する。

次回も読み合わせレビューを実施する。

以上